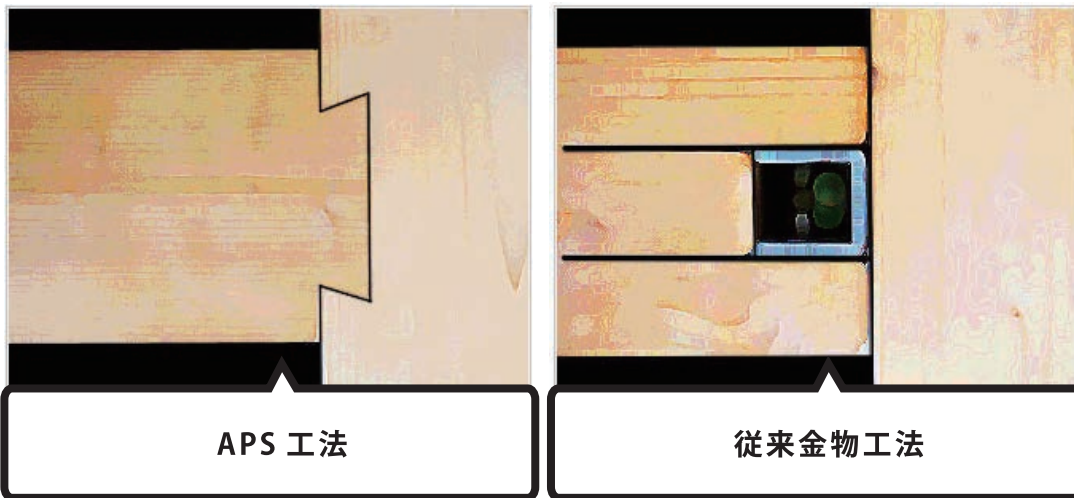


APS 工法 (アップル・ピン・システム工法)

木同士の間隙を徹底遮断。もう構造が原因で結露は起こさせない。

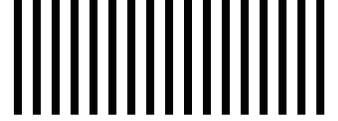
従来の木造住宅で使われていた金物は、木同士の間隙が生まれてしまう形状であったり、金物自体が露出してしまう仕様でした。特に金物は金属なので、温度差が生まれやすいことから、露出していると結露が起きやすいのが怖いところです。

そんな中、その弱点を克服したのが「APS工法」です。



「APS工法」は金物を木に埋め込み、ピンで留めて木同士を組みます。そのため、木同士に隙間が生まれないので、気密性が向上し、結露の発生を抑制してくれます。





万が一火災が起きた際も家族の安全を守る

木造は接合部には金物を使用します。
金属は熱を通しやすいということで、問題になるのが火災の時。
お家の倒壊の原因は、接合部にある金物の変形によるものです。
ですが「APS工法」なら金物の変形の心配はいりません。
「APS工法」では金物は木の中に埋まっているので、変形の恐れはなく、木材の外側が炭化するのみです。
消火活動までの時間を稼ぐことができるとともに、倒壊のリスクも避けることができます。
万が一の際も家族の安全を守る工法です。



実験前



実験後

梁を美しく見せることができる唯一の理由

木造のリビング・ダイニングで、梁や柱を見せているお家って憧れますよね。
従来の木造の接合部には羽子板のような金物を使用するので、梁を見せる際には、羽子板も顔を出します。
APS工法は金物が木の中に埋め込まれ、細いピンでしめるので梁を見せる際、金物が気になりません。
梁の木目を美しく見せる仕上がりを実現できる唯一の工法なのです。

